

未来の元気をマモル 歯の健康

お口の健康は体全体の健康につながっている

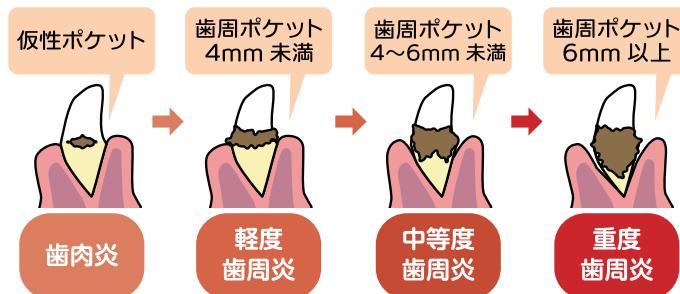
歯を失う主な原因はむし歯と歯周病です。特に、「歯周病」は糖尿病や心臓病、脳卒中などの生活習慣病と関係が深く、最近では認知症との関連もわかつてきました。

正しい歯みがきと定期的な歯科健診で、生涯を通じて健康な歯と全身の健康を守りましょう。

1 歯周病とは？

ものを食べると歯に溜まる歯垢の中にはむし歯菌(ミュータンス菌)、歯周病菌が住み着いています。

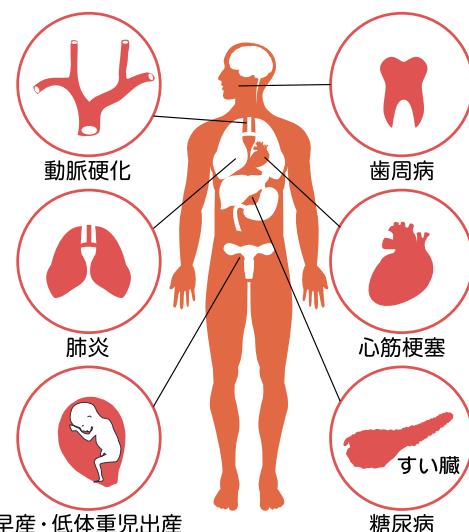
むし歯菌が酸を出して歯を溶かすと「むし歯」になります。また、歯周病菌が歯と歯ぐき(歯肉)の間に付着して歯ぐきに炎症を起こすと「歯周病」になります。歯周ポケットが深くなり、歯周病が悪化すると、歯を支える骨が溶けて歯がぐらぐらになり、抜けてしまいます。



2 歯周病は全身に影響する

お口の中と全身は血管でつながっているので、歯周病菌が歯周ポケットから血液中にいると、歯周病菌が全身に回ることになります。

歯周病菌は糖尿病や心筋梗塞、動脈硬化、肺炎などを起こしやすくなります。



3 歯周病の予防

正しい歯の磨き方



毛先を歯の面(歯と歯肉の境目、歯と歯の間)にきちんとあてる。



細かく動かす(1cmを目安に1~2歯ずつみがく)。

リターンズ Go Go 健活! マモルちゃん

お口の健康は体全体の健康につながっている

[歯周病予防のポイント]

- 毎食後と、特に寝る前は必ず歯みがき。歯間ブラシも効果的。
- 歯科で定期的に歯石除去(歯石は歯ブラシでは取れません)と歯科健診(むし歯などの早期発見・早期治療)を受けましょう。